

## 3.11 後の省エネ問題

### 1 エネルギー供給サイドの課題

#### 1.1 原発事故

- ⇒ 電力供給の逼迫
- ⇒ 核エネルギー利用の縮減と、それに伴う  
脱化石エネルギー政策の見直し

#### 1.2 一方で、継続的に強化される低炭素化の国際的要請

#### 1.3 新たに課せられた制約条件

- ① 脱核エネルギーと低炭素化のトレードオフ問題、或いは
- ② 核エネルギー利用／電力供給／低炭素のトリレンマ問題

1

Shuzo Murakami, Building Research Institute

### 2 エネルギー需要サイドの課題

#### 2.1 トレードオフ問題／トリレンマ問題は、需要サイドにも 大きな影響

#### 2.2 いかにしてこれらを克服するか？

- ⇒ 極めて有力な手法としての“一層の省エネ”、  
さらに“創エネ”、“蓄エネ”

#### 2.3 何処に“いっそうの省エネ”の余地を求めるか？

- ・ 建築サイド
- ・ 設備・機器サイド
- ・ コミュニティサイド

2

Shuzo Murakami, Building Research Institute

## 3 国民的合意に向けて

### 3.1 今夏の節電の体験

- ⇒ 市民、産業等、各方面に対する、様々の“痛み“
- ⇒ 節電の長期化に対する不安

### 3.2 今後の“一層の省エネ“においても、痛みの発生は避けられない

- ⇒ いかにして、痛みを緩和するか

### 3.3 痛みの緩和と共有に向けた、バランスのとれた政策デザイン

- ⇒ 技術革新を誘発する仕組み
  - ⇒ 例えば、インセンティブの付与とマルチベネフィットの提供等
- ⇒ 脱核エネルギー依存、低炭素社会に向けた明るい将来展望